

学習到達度確認テスト活用例の紹介 その④

【高田小学校】

■活用方法や工夫

- 到達度確認テスト強化週間
 - ☆毎月学校全体で取り組む期間を決めて、朝学習・授業・家庭学習で取り組む。
 - ☆取組後、各学年で気づいたことや成果と課題を記録して、情報交換し次の取組に活かす。
- 授業で活用し、思考力・表現力・説明力を育てる。
- 家庭への啓発
 - ☆学級懇談で、学力向上に向けて家庭学習の大切さを話し、到達度確認テストの取り組みを紹介した。
- 学校で実施したテストを家庭学習に出し、繰り返し取り組むことで定着を図る。



到達度確認テストに取り組む児童
(朝学習ファイル)

グループ学習で自分の考えを説明し合う児童

■取組を通して

- 読解力が弱いという課題が明らかになり、授業改善に役立っている。
- 無解答が減り、自分の考えを書こうと粘り強く取り組む児童が増えてきた。

【勝北中学校】

■活用方法や工夫

○利用しやすい環境を職員室から

<電子データで>

校内LAN上の共有フォルダにダウンロードし保存パソコン上で選び、ついでに印刷。

<紙媒体で>

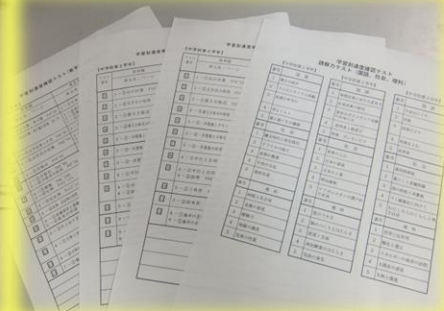
バインダーにインデックスを付けて整理して綴じ、わかりやすい場所に備える(目次もしくは単元一覧表付き)。

○活用時間の確保 ～一斉実施+ちょっとした時間の活用～

- ・夏休みの登校日や一斉補充学習時間を利用
- ・教科の到達度確認用に加え、定期テスト問題や家庭学習用にも使用を検討中
- ・個人面談の待ち時間なども利用



すべての先生の机上から簡単にアクセス可能



紙媒体の整理

■取組を通して

- 活用しやすい環境作りにより、本テストの内容等について職員で共有することができた。
- 本テストの取組により生徒が自分の考えをまとめて記述すること等の書く力に課題があることがわかった。